

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
ホスピタリティリズム 専門学校大阪	昭和56年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人トラベルジャー ル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野3丁目18-11 (電話) 03-3360-4621																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
商業実務	商業実務専門課程	観光学科鉄道サービス科	平成16年文部科学省告示 第29号有	-																			
学科の目的	観光サービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。																						
認定年月日	平成26年4月1日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2	昼間	1860時間	1680時間	-	180	-	-																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
200人	55人	0人	2人	5人	7人																		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施																			
長期休み	■夏季:7月上旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間		卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面接実施 カウンセラー担当者設置		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有																			
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 鉄道業界 ■就職指導内容 就職対策(キャリアプランニング)授業、授業セミナーなどを実施 ■卒業生数 19 人 ■就職希望者数 18 人 ■就職者数 18 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.7 % ■その他 なし (令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内旅行業務取扱 管理者</td> <td>②</td> <td></td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>サービス介助士</td> <td>③</td> <td></td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>普通救命講習</td> <td>③</td> <td></td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得す るもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国内旅行業務取扱 管理者	②		5人	サービス介助士	③		15人	普通救命講習	③		19人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
国内旅行業務取扱 管理者	②		5人																				
サービス介助士	③		15人																				
普通救命講習	③		19人																				
中途退学 の現状	■中途退学者 3名 令和2年4月1日時点において、在学者45名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者42名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、出席率不足 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制度を導入し、年に数回個人面談を実施。毎月会議にて、出席率が低下している学生を情報共有するとともに、担任、就職担当、課長からのフォローを実施している。また、毎週火曜日にスクールカウンセラーも滞在し、退学防止に努めている。		■中退率 6.7 %																				
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留学制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																						
当該学科の ホームページ URL	https://www.trajal.info/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係																																			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を使用した実践的な講義等を通じ、人事担当者や現場責任者の意見・具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。																																			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記 業界からの要望、知見をもって、本学カリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。																																			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和2年3月31日現在																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廣岡 裕一</td> <td>京都外国語大学グローバル観光学科教授</td> <td>令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>田中 知一</td> <td>大阪府立布施高等学校</td> <td>令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>梅村 千尋</td> <td>(株)日本旅行 企画チーフ</td> <td>令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>稲垣 達也</td> <td>阪急電鉄(株) 運輸副部長</td> <td>令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>宝田 英樹</td> <td>日本航空(株) 西日本地区副支配人</td> <td>令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>佐野 恭子</td> <td>KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部</td> <td>令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>古瀬 江梨奈</td> <td>合同会社USJ人事部・ 卒業生</td> <td>令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table>				名前	所属	任期	種別	廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②	田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②	梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③	稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③	宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③	佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③	古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③
名前	所属	任期	種別																																
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②																																
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②																																
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③																																
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③																																
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③																																
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッズニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③																																
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③																																
<p>※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。</p> <p>①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)</p> <p>②学会や学術機関等の有識者</p> <p>③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員</p>																																			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回(11月、2月) (開催日時(実績)) 第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00 第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00																																			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 ・インバウンドを意識した英語力 ・コンプライアンス ・SNSの問題																																			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係																																			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 企業との連携により実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。																																			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。																																			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目名</th> <th>科目概要</th> <th>連携企業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業実習/集中講座</td> <td>各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。</td> <td>株式会社JR西日本メンテック他</td> </tr> <tr> <td>鉄道基礎知識</td> <td>京王観光(株)様とタイアップし、京王電鉄の運転席・車庫・工場をVRで現場体験。</td> <td>京王観光株式会社</td> </tr> <tr> <td>業界事情</td> <td>近江鉄道(株)様とタイアップし「貸切列車」のテーマで学生によるプレゼン実施。</td> <td>近江鉄道株式会社</td> </tr> </tbody> </table>				科目名	科目概要	連携企業等	企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社JR西日本メンテック他	鉄道基礎知識	京王観光(株)様とタイアップし、京王電鉄の運転席・車庫・工場をVRで現場体験。	京王観光株式会社	業界事情	近江鉄道(株)様とタイアップし「貸切列車」のテーマで学生によるプレゼン実施。	近江鉄道株式会社																				
科目名	科目概要	連携企業等																																	
企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社JR西日本メンテック他																																	
鉄道基礎知識	京王観光(株)様とタイアップし、京王電鉄の運転席・車庫・工場をVRで現場体験。	京王観光株式会社																																	
業界事情	近江鉄道(株)様とタイアップし「貸切列車」のテーマで学生によるプレゼン実施。	近江鉄道株式会社																																	

<p>3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係</p>
<p>(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記</p> <p>本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。</p>
<p>(2) 研修等の実績</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和2年8月6日(木)～7(金) 対象：教職員24名 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和2年8月24(月)～25(火) 対象：教職員24名 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。</p>
<p>(3) 研修等の計画</p> <p>① 専攻分野における実務に関する研修等</p> <p>研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和3年7月26日(月)～27(火) 対象：教職員26名 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する</p>
<p>② 指導力の修得・向上のための研修等</p> <p>研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和3年8月23(月)～24(火) 対象：教職員21名 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方法に沿った事業計画の策定
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4) 学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
(6) 教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8) 財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報
(9) 法令等の遵守	専修学校設備基準の遵守、個人情報保護
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL:https://www.trajal.info/

公表時期: 令和3年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2) 各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
(3) 教職員	教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価数
(10) 国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL:https://www.trajal.info/

授業科目等の概要

(商業実務専門課程鉄道サービス学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティヒューマンズスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開	1前	30	2	○			○	○	○	
2	○			キャリアプランニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○	○		
3	○			キャリアプランニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○		○	
4	○			ビジネスマナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時にジョブパス検定合格を目指す	1前	30	2	○			○		○	
5	○			ビジネスマナーⅡ	第一印象を良くする（挨拶、態度、話し方など）基本マナーを身につけ、社会人としての人の接し方、電話対応、来客対応や文書の常識を学ぶ	1後	30	2	○			○		○	○
6	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○		○	○
7	○			業界就職試験対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1前	30	2	○			○		○	○
8	○			業界就職試験対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1後	30	2	○			○		○	○
9	○			ゼミナール	社会に出て活かせる特技、教養を身につけるため、動画編集・語学・表現・ボランティアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○		○	
10	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	1前 2前	180	6			○	○	○		○
11	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	12通	120	8	○			○		○	
12		○		秘書検定2級対策	秘書検定2級対策授業	1後	30	2	○			○		○	
13		○		世界遺産研究	世界遺産の歴史や背景を学び、海外旅行地理の知識を深める	1後	30	2				○		○	
14		○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	1後	30	2	○			○		○	
15		○		ペン字検定対策	ペン字検定対策授業	1後	30	2	○			○		○	

16		○	総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2前	30	2	○				○			○	
17		○	ビジネススキル	社会で求められるビジネスマナーやスキルを実践的に身に着ける	2前	30	2	○				○			○	
18		○	日本文化研究	日本の文化、歴史、習慣、言語、芸能、芸術の見識を深め、インバウンド需要に対応できる力を養う	2前	30	2	○				○			○	
19		○	インバウンドイングリッシュ	海外文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる英語力を実践的に身に着ける	2前	30	2	○				○			○	
20		○	はじめての中国語	中国文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる中国語を実践的に身に着ける	2後	30	2	○				○			○	
21		○	冠婚葬祭マナー	社会で求められる作法や日本のしきたり、おもてなしの心得を学び、知識や立ち居振る舞いを身に付ける	2後	30	2	○				○			○	
22		○	エンタメイングリッシュ	海外のエンターテイメントから英語表現や、文化的背景を学び、実践的な英語表現を学ぶ	2後	30	2	○				○			○	
23		○	観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ	2後	30	2	○				○			○	
24	○		芝居表現トレーニング	演劇的なトレーニング方法を用いて、自己の表現力を高め、強化する。	1通	60	4	○							○	○
25	○		鉄道筆記試験対策	SPI対策	1後	30	2	○				○			○	
26	○		国内実務対策	国内管理者試験対策	1前	30	2	○							○	
27	○		鉄道面接対策	自己の客観的印象を知り、磨くことで就職活動に役立てる力をつける 就職面接での常識的な心構えを知り、その中で個性を表現する感性を磨く	1後 2前	60	4	○				○			○	
28	○		国内旅行地理	国内管理者試験対策	1前	30	2	○							○	
29	○		国内旅行運賃	国内管理者試験対策	1前	30	2	○							○	
30	○		鉄道企業研究	鉄道会社の会社概要、財務状況等の研究	1後	30	2	○				○			○	
31	○		駅員乗務員実務	駅員・乗務員に関する知識の習得（基礎編）	1通	60	4	○							○	○
32	○		旅行業法	国内旅行管理者試験対策	1前	30	2	○				○			○	○
33	○		文章表現力対策	エントリーシート記入の他、文章力の向上を目指す	1通	60	4	○							○	

34	○		旅行業約款	国内旅行管理者試験対策	1 前	30	2	○							○	○
35	○		鉄道業界対策	業界研究を中心に、なぜ鉄道会社を指導するかということ掘り下げて考える。 鉄道業界で求められる	1 後	30	2	○							○	○
36	○		インターンシップトレーニング	夏季就業体験に向けた仕事におけるマナーや心構えを学ぶ	1 前	30	2	○							○	○
37	○		接客手話	聴覚障害者への理解を深め、基本コミュニケーションに必要な手話その他の手段を見につける。手話を通じて豊かな表現力を習得し、ホスピタリティの実践につなげる。全国手話検定5級を取得可能。	2 通	60	4	○								○
38	○		鉄道沿線プランニング	パソコンを用いながら、鉄道を利用した旅行プランの作成やパンフレット制作を行う	2 前	30	2	○							○	○
39	○		レールウェイイングリッシュ	鉄道会社入社後に必要となる現場で使える英会話能力を習得する	2 通	60	4	○							○	○
40	○		鉄道中国語	鉄道会社に入社後に必要となる現場で使える中国語能力を習得する	2 通	60	4	○							○	○
41	○		鉄道ビジネス論	鉄道会社の収益構造や鉄道会社の歴史を知る	2 前	30	2	○							○	○
42	○		鉄道基礎知識	鉄道業における基礎的な知識を習得する	2 通	60	4	○							○	○
43	○		ステーションケーススタディ	駅業務で必要となる知識や接遇について習得する	2 通	60	4	○							○	○
44	○		ユニバーサルマナー・成果発表	鉄道の現場において、障がい者の方への対応方法等を学ぶ	2 後	30	2	○							○	○
45	○		マーケット研究	旅行の目的となるマーケットについて知識を習得する。幅広い客層の様々な目的に対応できる広い分野の教養を身に着ける。	2 後	30	2	○							○	○
46	○		社会貢献	ボランティア活動や福祉施設への見学を通して社会への貢献方法を知る	2 後	30	2	○							○	○
47	○		フィジカルトレーニングⅠ	基礎体力・筋力向上を目指し、健康的な体を作る	1 前	30	2	○							○	○
48	○		フィジカルトレーニングⅡ	グループ競技を実施し、体力向上と共に、チームワークの大切さを学ぶ	1 後	30	2	○							○	○

49	○		フィジカルトレーニングⅢ	IとⅡを踏まえたうえでの体づくり	2前	30	2	○				○	○	
50	○		フィジカルトレーニングⅣ	IとⅡとⅢを踏まえたうえでの体づくり	2後	30	2	○				○	○	
51	○		セルフスタイリング	社会人として必要な一般教養や立ち居振る舞いを身に着け、視野を将来に広げる感性を磨く。	2後	30	2	○			○		○	
52	○		業界事情	地方鉄道の目玉となるようなプランを学生たちで考え、鉄道会社にプレゼンテーションを行う。	2前	30	2	○			○		○	○
合計					52 科目	1860単位時間(118 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ホスピタリティソルズム 専門学校大阪	昭和56年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人トラベルジャー ナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野3丁目18-11 (電話) 03-3360-4621				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	観光学科旅行科	平成16年文部科学省告示 第29号有	—			
学科の目的	観光サービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。						
認定年月日	平成26年4月1日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1860時間	1680時間	-	180	-	-
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	33人	1人	2人	6人	8人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施			
長期休み	■夏季:7月上旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間		卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面接実施 カウンセラー担当者設置		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)			
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 旅行業界		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格・検定名			
	■就職指導内容 就職対策(キャリアプランニング)授業、授業セミナーなどを実施			種	受験者数	合格者数	
	■卒業者数 : 27 人		アマデウス システム検定	③		19人	
	■就職希望者数 : 21 人		インフィニ検定	③		21人	
	■就職者数 : 21 人		国内旅行業務取扱 管理者	②		21人	
	■就職率 : 100 %		国内旅程主任者	②		23人	
	■卒業者に占める就職者の割合 : 77.7 %		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得する もの ③その他(民間検定等)				
	■その他 ・進学者数: 5人 ・帰国者(外国人留学生) 1名		■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				
	(令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)						
中途退学 の現状	■中途退学者 4 名 令和2年4月1日時点において、在学者50名(令和元年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者46名(令和3年3月31日卒業生を含む)		■中途退学率 8 %				
	■中途退学の主な理由 進路変更						
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任制度を導入し、年に数回個人面談を実施。毎月会議にて、出席率が低下している学生を情報共有するとともに、担任、就職担当、課長からのフォローを実施している。また、毎週火曜日にスクールカウンセラーも滞在し、退学防止に努めている。						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科の ホームページ URL	https://www.trajal.info/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を使用した実践的な講義等を通じ、人事担当者や現場責任者の意見・具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

業界からの要望、知見をもって、本学カリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00

第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・観光に関するPR動画の政策やSNSを使っのマーケティング(観光に関するPR動画を競う動画コンテストをご紹介いただいた)

・机上の授業のみでなく、現在取り組んでいるフィールドワーク継続、強化すべき。

・旅行業務取扱管理者資格は1年生前期で学び、旅行業の基礎知識吸収に役立ててはどうか。

・メンタルヘルス系の授業

・Excelの表やグラフの作成スキルだけでなく、目的に応じた選択手法(考え方)を身に付けさせるべき。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社ツーリストエキスパート
海外ツアープランニング	(株)NOE様との産学連携により、学生企画による旅行商品の企画・提案・プレゼン・パンフレット作成を共同で行う	株式会社NOE
ニューツーリズム研究	バリアフリー旅行の専門業者である夢ツーリスト様とタイアップし、学校周辺で車椅子実習などのバリアフリーツーリズムを体験・修得する。	夢ツーリストきたみ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)

期間：令和2年8月6日(木)～7(金) 対象：教職員24名

内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)

期間：令和2年8月24(月)～25(火) 対象：教職員24名

内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)

期間：令和3年7月26日(月)～27(火) 対象：教職員26名

内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)

期間：令和3年8月23(月)～24(火) 対象：教職員21名

内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方法に沿った事業計画の策定
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4) 学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
(6) 教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8) 財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報
(9) 法令等の遵守	専修学校設備基準の遵守、個人情報保護
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.trajal.info/>

公表時期: 令和3年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2) 各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
(3) 教職員	教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価数
(10) 国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.trajal.info/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光学科旅行科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティヒューマンズスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開。	1前	30	2	○			○	○	○	
2	○			キャリアプランニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○		○	
3	○			キャリアプランニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○			○
4	○			ビジネスマナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時にジョブパス検定合格を目指す。	1前	30	2	○			○			○
5	○			ビジネスマナーⅡ	第一印象を良くする(挨拶、態度、話し方など)基本マナーを身につけ、社会人としての人との接し方、電話対応、来客対応や文書の常識を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○
6	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○			○
7	○			業界就職試験対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1前	30	2	○			○			○
8	○			業界就職試験対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1後	30	2	○			○			○
9	○			ゼミナール	社会に出て活かせる特技、教養を身につけるため、動画編集・語学・表現・ボランティアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○			○
10	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	1前 2前	180	6			○	○	○		○
11	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	12通	120	8	○			○			○
12		○		秘書検定2級対策	秘書検定2級対策授業	1後	30	2	○			○			○
13		○		世界遺産研究	世界遺産の歴史や背景を学び、海外旅行地理の知識を深める。	1後	30	2				○			○
14		○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	1後	30	2	○			○			○

15	○	ペン字検定対策	ペン字検定対策授業	1 後	30	2	○			○			○	
16	○	総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○	
17	○	ビジネススキル	社会で求められるビジネスマナーやスキルを実践的に身に着ける。	2 前	30	2	○			○			○	
18	○	日本文化研究	日本の文化、歴史、習慣、言語、芸能、芸術の見識を深め、インバウンド需要に対応できる力を養う	2 前	30	2	○			○			○	
19	○	インバウンドイングリッシュ	海外文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる英語力を実践的に身に着ける	2 前	30	2	○			○			○	
20	○	はじめての中国語	中国文化を理解し、訪日する外国人のお客様に対応できる中国語を実践的に身に着ける。	2 後	30	2	○			○			○	
21	○	冠婚葬祭マナー	社会で求められる作法や日本のしきたり、おもてなしの心得を学び、知識や立ち居振る舞いを身に付ける。	2 後	30	2	○			○			○	
22	○	エンタメイングリッシュ	海外のエンターテイメントから英語表現や、文化的背景を学び、実践的な英語表現を学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○	
23	○	観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○	
24	○	旅行業法	旅行業に携わる上で守るべき旅行業法及び同法施行規則を理解する。国内旅行業務取扱管理者資格取得を目指す。	1 前	30	2	○			○			○	
25	○	旅行業約款	旅行者と契約を締結する上で案内が必要となる旅行業約款・各種約款を理解する。国内旅行業務取扱管理者資格取得を目指す。	1 前	30	2	○			○			○	
26	○	国内旅行地理	国内の主要観光資源知識を習得する。国内旅行業務取扱管理者資格取得を目指す。	1 前	30	2	○			○			○	
27	○	国内旅行運賃	JRの運賃・料金規則、計算方法を理解し、実務知識をつける。国内旅行業務取扱管理者資格取得を目指す。	1 前	30	2	○			○			○	
28	○	国内実務対策	旅行会社での様々業務について、実務レベルで学習する。就職後の即戦力となるためのスキルを習得する	1 前	30	2	○			○			○	
29	○	ツアープランニング基礎	時刻表の読み方を身につけ、日帰り旅行のプランニングをする。	1 前	30	2	○			○			○	
30	○	ツアープレゼンテーション	プレゼンテーションツール（Power Pointなど）を使い、実践を通じてプレゼンテーション力を身に着ける。	1 後	30	2	○						○	
31	○	観光業界対策	観光業界の仕事内容、現状と今後の展望について考え、業界への理解を深める。	1 通	30	2	○						○	
32	○	総合対策（実務）	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業 出入国法令、海外旅行実務の2分野を学習する。	1 前	30	2	○						○	

50	○		ホテル旅館研究	全国のホテル・旅館など宿泊施設についての理解を深める。	2 後	30	2	○			○	○		
51	○		海外旅行実務対策	海外旅行保険、海外レンタカー、査証の手続きなど、旅行業務を行う上で必要な知識を深める。	2 後	30	2	○			○	○		
52	○		国内旅行実務対策	JR時刻表を使い、時刻や運賃の調べ方を復習し、方面別に観光素材について理解を深める。	2 後	30	2	○			○	○		
合計				52 科目	1860単位時間(118 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	昭和56年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野3丁目18-11 (電話) 03-3360-4621				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	観光学科エアライン科キャビンアテンダント専攻	平成16年文部科学省告示第29号有	-			
学科の目的	観光サービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。						
認定年月日	平成26年4月1日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1860時間	1680時間	-	180	-	-
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	27人	0人	3人	5人	8人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施			
長期休み	■夏季:7月上旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間		卒業・進級条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面接実施 カウンセラー担当者設置		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 2020年度専攻開設のため情報なし ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業生数 - 人 ■就職希望者数 - 人 ■就職者数 - 人 ■就職率 - % ■卒業生に占める就職者の割合 : - % ■その他 0 (令和 元 年度卒業生に関する平成32年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) 2020年度専攻開設のため情報なし 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 3名 令和2年4月1日時点において、在学者18名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者15名(令和3年3月31日卒業生無し) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組		■中退率	17%			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	https://www.trajal.info/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を使用した実践的な講義等を通じ、人事担当者や現場責任者の意見・具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記 業界からの要望、知見をもって、本学カリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和2年3月31日現在			
	名 前	所 属	任 期
	廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)
	田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)
	梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)
	稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)
	宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)
	佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)
	古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)
種別			
			②
			②
			③
			③
			③
			③
			③
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 (年間の開催数及び開催時期) 年2回(11月、2月) (開催日時(実績)) 第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00 第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。 ・TOEIC対策授業 ・英語を学ぶだけでなく、英語を使って調べたり発表する授業を取り入れるべき。 ・早い時期に海外研修を実施し、「いかに日本の事を知らないか」「英語を話す事が出来ないか」を実感する事で、自身に何が足りないかを知ることができる。			
2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 企業との連携により実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
	科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
	業界英語	CKTS(株)様とタイアップし、現役のグランドスタッフからの英語特別講座を実施。実際の現場で役立つ英会話を修得。	CKTS株式会社
	キャビンアテンダント実務	(株)JALスカイ大阪様などをお招きし、スキルコンテストを開催	株式会社JALスカイ大阪他
	Airline Appearance	(株)ジェイエア様から、業界が求める人材像をご講演。	株式会社ジェイエア

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)

期間: 令和2年8月6日(木)～7(金) 対象: 教職員24名

内容: 生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)

期間: 令和2年8月24(月)～25(火) 対象: 教職員24名

内容: 生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)

期間: 令和3年7月26日(月)～27(火) 対象: 教職員26名

内容: ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等: 株式会社マックスマネジメント)

期間: 令和3年8月23(月)～24(火) 対象: 教職員21名

内容: ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方法に沿った事業計画の策定
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4) 学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
(6) 教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8) 財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報
(9) 法令等の遵守	専修学校設備基準の遵守、個人情報保護
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.trajal.info/>

公表時期: 令和3年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2) 各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
(3) 教職員	教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価数
(10) 国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.trajal.info/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン科キャビンアテンダント専攻)														
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択				講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティヒューマンズスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開。	1前	30	2	○			○	○	
2	○			キャリアプランニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○	○	
3	○			キャリアプランニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○	○	
4	○			ビジネスマナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時にジョブパス検定合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○	
5	○			ビジネスマナーⅡ	第一印象を良くする(挨拶、態度、話し方など)基本マナーを身につけ、社会人としての人との接し方、電話対応、来客対応や文書の常識を学ぶ。	1後	30	2	○			○	○	
6	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○	○	
7	○			業界就職試験対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1前	30	2	○			○	○	
8	○			業界就職試験対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1後	30	2	○			○	○	
9	○			ゼミナール	社会に出て活かせる特技、教養を身につけるため、動画編集・語学・表現・ボランティアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○	○	
10	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	1前 2前	180	6			○	○	○	
11	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	12通	120	8	○			○	○	
12		○		秘書検定2級対策	秘書検定2級対策授業	1後	30	2	○			○	○	
13		○		世界遺産研究	世界遺産の歴史や背景を学び、海外旅行地理の知識を深める。	1後	30	2				○	○	
14		○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	1後	30	2	○			○	○	

15	○	ペン字検定対策	ペン字検定対策授業	1 後	30	2	○			○			○	
16	○	総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○	
17	○	ビジネススキル	社会で求められるビジネスマナーやスキルを実践的に身に着ける。	2 前	30	2	○			○			○	
18	○	日本文化研究	日本の文化、歴史、習慣、言語、芸能、芸術の見識を深め、インバウンド需要に対応できる力を養う。	2 前	30	2	○			○			○	
19	○	インバウンドイングリッシュ	海外文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる英語力を実践的に身に着ける	2 前	30	2	○			○			○	
20	○	はじめての中国語	中国文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる中国語を実践的に身に着ける。	2 後	30	2	○			○			○	
21	○	冠婚葬祭マナー	社会で求められる作法や日本のしきたり、おもてなしの心得を学び、知識や立ち居振る舞いを身に付ける。	2 後	30	2	○			○			○	
22	○	エンタメイングリッシュ	海外のエンターテイメントから英語表現や、文化的背景を学び、実践的な英語表現を学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○	
23	○	観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○	
24	○	業界英語	業界で使われている用語やフレーズを使い、接客英語での基本的なお客様対応を学ぶ。	1 通	60	4	○			○			○	○
25	○	TOEIC対策	各学生のレベルに応じた内容を学生自身が用意されたフォルダから選び、レベルアップを行う。TOEICスコアアップの基礎となる語彙力アップを図る。	1 通	60	4	○			○			○	
26	○	Listening Training	さまざまなテーマを用いて、Listening力強化を図る。	1 通	60	4	○			○			○	
27	○	航空業界研究	各航空会社の成り立ちや企業理念などの研究を通して、既存航空会社への理解を深め、今までにない新たな航空会社を新設する。	1 通	60	4	○			○			○	
28	○	ホスピタリティ研究	ホスピタリティとは何かを理解し、日ごろから意識することで感性を高め、授業外（アルバイトや学校、公共交通機関など）でも、よりホスピタリティ溢れる言動ができるようになる。	1 前	30	2	○			○			○	
29	○	Airline Appearance	好印象を与える表情、所作、身だしなどを実践形式で学び習得する。	1 前	30	2	○			○			○	○
30	○	おもてなし手話	基本的な手話と、お客様対応に生かせる手話の習得。	2 通	60	4	○			○			○	
31	○	時事英語	日本の事象を英語で学習する。また最新の英語ニュースを精読して、賛否を英語で議論できることを達成目標とする。	2 通	60	4	○			○			○	

32	○		Multicultural Studies	日本文化や他国の文化・生活習慣、宗教、インバウンド等について学び、国際化に対応できる知識、コミュニケーション力を身につける。	2通	60	4	○			○	○		
33	○		インバウンド研究	インバウンドの増加に伴う、各国の地理や伝統、文化について研究し、学びを深める。	2通	60	4	○			○	○		
34	○		TOEIC L & R	実践的な会話を含めたTOEICの総合的な学習。	2通	60	4	○			○	○		
35	○		World Geography	世界各国の地理や特徴を学び、お客様に日本・世界の観光地を案内できるように学ぶ。	2通	60	4	○			○	○		
36	○		Japanese Culture	日本地理、遺産、文化を学び、自分たちが暮らす国についての理解を深めるとともに、国内外のお客様にも案内・説明できるレベルを目指す。	2通	60	4	○			○	○		
37		○	中国語 or 韓国語	第二外国語の基礎を学び、増加するアジアからのお客様対応に生かす。	2通	##	8	○			○		○	
38	○		卒業制作	専門学校での学びの集大成として、それぞれの専攻で業界業務のすべてについて理解を深め、ロールプレイングをすることで実践できる力を養う。	2後	30	2	○			○	○		
39	○		キャビンアテンダント実務	客室乗務員の基本知識・技能を習得する。ケーススタディを繰り返し実践することで想像力、対応力を身につける。個々のスキルだけでなく、チームワーク力も醸成する。	1通 2前	90	6	○			○	○	○	
合計						39 科目			1860単位時間(118 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
ホスピタリティツーリズム専門学校大阪	昭和56年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野3丁目18-11 (電話) 03-3360-4621				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	観光学科エアライン科グランドスタッフ専攻	平成16年文部科学省告示第29号有	-			
学科の目的	観光サービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。						
認定年月日	平成26年4月1日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1860時間	1680時間	-	180	-	-
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	23人	0人	3人	5人	8人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施			
長期休み	■夏季:7月上旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間		卒業・進級条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面接実施 カウンセラー担当者設置		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 2020年度専攻開設のため情報なし ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業生数 - 人 ■就職希望者数 - 人 ■就職者数 - 人 ■就職率 - % ■卒業者に占める就職者の割合 : - % ■その他 0 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) 2020年度専攻開設のため情報なし 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成2年4月1日時点において、在学者13名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者11名(令和3年3月31日卒業生無し) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組		■中退率	15.3%			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留學制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)						
当該学科のホームページURL	https://www.trajal.info/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を使用した実践的な講義等を通じ、人事担当者や現場責任者の意見・具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

業界からの要望、知見をもって、本学カリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄㈱ 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空㈱ 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00

第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・TOEIC対策授業

・英語を学ぶだけでなく、英語を使って調べたり発表する授業を取り入れるべき。

・早い時期に海外研修を実施し、「いかに日本の事を知らないか」「英語を話す事が出来ないか」を実感する事で、自身に何が足りないかを知ることができる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
業界英語	CKTS(株)様とタイアップし、現役のグランドスタッフからの英語特別講座を実施。実際の現場で役立つ英会話を修得。	CKTS株式会社
グランドスタッフ実務	(株)JALスカイ大阪様などをお招きし、スキルコンテストを開催	株式会社JALスカイ大阪他
Airline Appearance	(株)ジェイエア様から、業界が求める人材像ご講演。	株式会社ジェイエア

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。	
(2) 研修等の実績 ① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和2年8月6日(木)～7(金) 対象：教職員24名 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。	
② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和2年8月24(月)～25(火) 対象：教職員24名 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。	
(3) 研修等の計画 ① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和3年7月26日(月)～27(火) 対象：教職員26名 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する	
② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント) 期間：令和3年8月23(月)～24(火) 対象：教職員21名 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針 本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育人人材像
(2) 学校運営	運営方法に沿った事業計画の策定
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4) 学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5) 学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
(6) 教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8) 財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報
(9) 法令等の遵守	専修学校設備基準の遵守、個人情報保護
(10) 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	留学生の受入れ・派遣
※(10)及び(11)については任意記載。	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	㈱日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL:<https://www.trajal.info/>

公表時期: 令和3年3月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2) 各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
(3) 教職員	教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己評価数
(10) 国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL:<https://www.trajal.info/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光学科エアライン科グランドスタッフ専攻)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティヒューマンズスキル	「ホスピタリティマインド」、「自己理解・他者理解」、「キャリアデザイン」という3つのテーマより、自らが気づきを得るためのワークショップ形式の授業を展開	1前	30	2	○			○	○	○	
2	○			キャリアプランニングⅠ	1.自己分析、職業観、業界・企業研究 2.就職活動に必要な応募書類の理解と作成 3.面接試験対策	1後	30	2	○			○		○	
3	○			キャリアプランニングⅡ	1.求人情報、企業研究 2.面接トレーニング 3.アクションプラン作成	2前	30	2	○			○			○
4	○			ビジネスマナーⅠ	働く上での基本といえるビジネスマナーとコミュニケーション、仕事の進め方やビジネス文書などを学びながら、同時にジョブパス検定合格を目指す	1前	30	2	○			○			○
5	○			ビジネスマナーⅡ	第一印象を良くする(挨拶、態度、話し方など)基本マナーを身につけ、社会人としての人の接し方、電話対応、来客対応や文書の常識を学ぶ	1後	30	2	○			○		○	○
6	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○		○	○
7	○			業界就職試験対策Ⅰ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1前	30	2	○			○		○	○
8	○			業界就職試験対策Ⅱ	業界就職試験に必要な数学、国語、社会、について、問題を解きながら知識を得る。	1後	30	2	○			○		○	
9	○			ゼミナール	社会に出て活かせる特技、教養を身につけるため、動画編集・語学・表現・ボランティアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○			○
10	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	1前 2前	180	6			○	○	○		
11	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	12通	120	8	○			○		○	
12		○		秘書検定2級対策	秘書検定2級対策授業	1後	30	2	○			○			○
13		○		世界遺産研究	世界遺産の歴史や背景を学び、海外旅行地理の知識を深める	1後	30	2				○		○	
14		○		パソコン検定対策	パソコン関連検定対策授業	1後	30	2	○			○			○

15	○	ペン字検定対策	ペン字検定対策授業	1 後	30	2	○			○			○	
16	○	総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○	
17	○	ビジネススキル	社会で求められるビジネスマナーやスキルを実践的に身に着ける	2 前	30	2	○			○			○	
18	○	日本文化研究	日本の文化、歴史、習慣、言語、芸能、芸術の見識を深め、インバウンド需要に対応できる力を養う	2 前	30	2	○			○			○	
19	○	インバウンドイングリッシュ	海外文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる英語力を実践的に身に着ける	2 前	30	2	○			○			○	
20	○	はじめての中国語	中国文化を理解し、訪日外国人のお客様に対応できる中国語を実践的に身に着ける	2 後	30	2	○			○			○	
21	○	冠婚葬祭マナー	社会で求められる作法や日本のしきたり、おもてなしの心得を学び、知識や立ち居振る舞いを身に付ける	2 後	30	2	○			○			○	
22	○	エンタメイングリッシュ	海外のエンターテイメントから英語表現や、文化的背景を学び、実践的な英語表現を学ぶ	2 後	30	2	○			○			○	
23	○	観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ	2 後	30	2	○			○			○	
24	○	業界英語	業界で使われている用語やフレーズを使い、接客英語での基本的なお客様対応を学ぶ	1 通	60	4	○			○			○	○
25	○	TOEIC対策	各学生のレベルに応じた内容を学生自身が用意されたフォルダから選び、レベルアップを行う。TOEICスコアアップの基礎となる語彙力アップを図る。	1 通	60	4	○			○			○	
26	○	Listening Training	さまざまなテーマを用いて、Listening力強化を図る。	1 通	60	4	○			○			○	
27	○	航空業界研究	各航空会社の成り立ちや企業理念などの研究を通して、既存航空会社への理解を深め、今までにない新たな航空会社を新設する。	1 通	60	4	○			○			○	
28	○	ホスピタリティ研究	ホスピタリティとは何かを理解し、日頃から意識することで感性を高め、授業外（アルバイトや学校、公共交通機関など）でも、よりホスピタリティ溢れる言動ができるようになる	1 前	30	2	○			○			○	
29	○	Airline Appearance	好印象を与える表情、所作、身だしなどを実践形式で学び習得する。	1 前	30	2	○			○			○	○
30	○	おもてなし手話	基本的な手話と、お客様対応に生かせる手話の習得	2 通	60	4	○			○			○	
31	○	時事英語	日本の事象を英語で学習する。また最新の英語ニュースを精読して、賛否を英語で議論できることを達成目標とする。	2 通	60	4	○			○			○	
32	○	Multicultural Studies	日本文化や他国の文化・生活習慣、宗教、インバウンド等について学び、国際化に対応できる知識、コミュニケーション力を身につける。	2 通	60	4	○			○			○	

33	○		インバウンド研究	インバウンドの増加に伴う、各国の地理や伝統、文化について研究し、学びを深める。	2通	60	4	○			○	○		
34	○		TOEIC L & R	実践的な会話を含めたTOEICの総合的な学習	2通	60	4	○			○	○		
35	○		World Geography	世界各国の地理や特徴を学び、お客様に日本・世界の観光地を案内できるように学ぶ。	2通	60	4	○			○	○		
36	○		Japanese Culture	日本地理、遺産、文化を学び、自分たちが暮らす国についての理解を深めるとともに、国内外のお客様にも案内・説明できるレベルを目指す。	2通	60	4	○			○	○		
37		○	中国語 or 韓国語	第二外国語の基礎を学び、増加するアジアからのお客様対応に生かす。	2通	##	8	○			○		○	
38	○		卒業制作	専門学校での学びの集大成として、それぞれの専攻で業界業務のすべてについて理解を深め、ロールプレイングをすることで実践できる力を養う。	2後	30	2	○			○	○		
39	○		グランドスタッフ実務	フロントスタッフの基本知識・技能を習得する。ケーススタディを繰り返し実践することで想像力、対応力を身につける。個々のスキルだけでなく、チームワーク力も醸成する。	通	90	6	○	○	○	○	○	○	○
合計					39 科目	1860単位時間(118 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
ホスピタリティーズム 専門学校大阪	昭和56年4月1日	高田 直樹	〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-25 (電話) 06-6447-0051																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人トラベルジャー ナル学園	昭和55年4月1日	森谷 博	〒164-8550 東京都中野区東中野3丁目18-11 (電話) 03-3360-4621																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
商業実務	商業実務専門課程	観光学科エアライン科	平成16年文部科学省告示 第29号有	-																											
学科の目的	観光サービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。																														
認定年月日	平成26年4月1日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	昼間	1860時間	1680時間	-	180	-	-																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
200人	8人	0人	3人	5人	8人																										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施																											
長期休み	■夏季:7月上旬～9月30日までの5週間 ■冬季:12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業:3月上旬～4月上旬までの3週間		卒業・進級 条件	全科目の75%以上の科目認定 出席率75%以上																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、副担任制による定期的な面接実施 カウンセラー担当者設置		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭・学園祭における実行委員会 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報)																											
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 航空業界 ■就職指導内容 就職対策(キャリアプランニング)授業、授業セミナーなどを実施 ■卒業生数 28 人 ■就職希望者数 27 人 ■就職者数 27 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 96.4 % ■その他 0 (令和 2 年度卒業生に関する 令和3年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AXESS国際2級</td> <td>②</td> <td></td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>AXESS国内2級</td> <td>②</td> <td></td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>アマデウスシステム 検定</td> <td>②</td> <td></td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>インフィニ検定</td> <td>②</td> <td></td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>マナー・プロトコ ール検定2級</td> <td>②</td> <td></td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AXESS国際2級	②		21人	AXESS国内2級	②		22人	アマデウスシステム 検定	②		21人	インフィニ検定	②		7人	マナー・プロトコ ール検定2級	②		5人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
AXESS国際2級	②		21人																												
AXESS国内2級	②		22人																												
アマデウスシステム 検定	②		21人																												
インフィニ検定	②		7人																												
マナー・プロトコ ール検定2級	②		5人																												
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 令和2年4月1日時点において、在学者36名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者36名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制度を導入し、年に数回個人面談を実施。毎月会議にて、出席率が低下している学生を情報共有するとともに、担任、就職担当、課長からのフォローを実施している。また、毎週火曜日にスクールカウンセラーも滞在し、退学防止に努めている。																														
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留学制度奨学金 英語資格取得奨学金 家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科の ホームページ URL	https://www.trajal.info/																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を使用した実践的な講義等を通じ、人事担当者や現場責任者の意見・具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

業界からの要望、知見をもって、本学カリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・ 卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年11月11日 16:30～18:00

第2回 令和3年2月24日 16:30～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・TOEIC対策授業

・英語を学ぶだけでなく、英語を使って調べたり発表する授業を取り入れるべき。

・早い時期に海外研修を実施し、「いかに日本の事を知らないか」「英語を話す事が出来ないか」を実感する事で、自身に何が足りないかを知ることができる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
接客英会話	CKTS(株)様とタイアップし、現役のグランドスタッフからの英語特別講座を実施。実際の現場で役立つ英会話を修得。	CKTS株式会社
CA/GSコース	(株)JALスカイ大阪様などをお招きし、スキルコンテストを開催	株式会社JALスカイ大阪他
面接対策Ⅱ	(株)ジェイエア様から、業界が求める人材像ご講演。	株式会社ジェイエア

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)
 期間：令和2年8月6日(木)～7(金) 対象：教職員24名
 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)
 期間：令和2年8月24(月)～25(火) 対象：教職員24名
 内容：生徒や業界に対して更に魅力的な学科となるよう研鑽を積む。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)
 期間：令和3年7月26日(月)～27(火) 対象：教職員26名
 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」(連携企業等：株式会社マックスマネジメント)
 期間：令和3年8月23(月)～24(火) 対象：教職員21名
 内容：ICT教育の充実を図るべくEdTechを研究する

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	運営方法に沿った事業計画の策定
(3)教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
(4)学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
(5)学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
(6)教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
(8)財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報
(9)法令等の遵守	専修学校設備基準の遵守、個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	留学生の受入れ・派遣

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
廣岡 裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和1年11月1日～ 令和3年11月1日(2年)	②
田中 知一	大阪府立布施高等学校	令和1年4月1日～ 令和3年4月1日(2年)	②
梅村 千尋	(株)日本旅行 企画チーフ	令和1年9月30日～ 令和3年9月30日(2年)	③
稲垣 達也	阪急電鉄(株) 運輸副部長	令和3年4月30日～ 令和5年4月30日(2年)	③
宝田 英樹	日本航空(株) 西日本地区副支配人	令和2年9月10日～ 令和4年9月10日(2年)	③
佐野 恭子	KCJ GROUP株式会社キッザニア甲子園事業部	令和1年9月5日～ 令和3年9月5日(2年)	③
古瀬 江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和3年4月1日～ 令和5年4月1日(2年)	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL:https://www.trajal.info/

公表時期:令和3年3月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
(2)各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
(3)教職員	教員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
(5)様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
(6)学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
(7)学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	自己評価数
(10)国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://www.trajal.info/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光学科エアライン科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			キャリアプランニングⅡ	1. 求人情報、企業研究 2. 面接トレーニング 3. アクションプラン作成	2前	30	2	○			○		○	
2	○			ビジネスマナーⅢ	ビジネスマナーⅠ、Ⅱで学んだことを基本に、実際の社会で役立つこと、社会人として知っておくべき知識を応用できるようにワーク形式で学習する。	2後	30	2	○			○		○	○
3	○			遊学ゼミ	社会に出て活かせる特技、教養を身に着けるため、カメラ・料理・ダンス・ボランテアなど幅広いジャンルから、自分の特性に合ったものを選ぶ。	2後	30	2	○			○		○	
4	○			企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各業界の必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	通	90	3			○	○	○		
5	○			ホームルーム	クラス内での役割分担、コミュニケーションを実践的に学ぶ。担任との学生生活、進路等の相談を通じて、自分のキャリアプランの形成につなげる。	通	60	8	○			○		○	
6		○		TOEIC対策	TOEIC対策	2前	30	2	○			○			○
7		○		接客英会話	接客時に使える英会話を身に着ける	通	30	2	○			○			○
8		○		ハングル能力検定対策	ハングル能力検定対策	2前	60	2	○			○			○
9		○		Communication English	コミュニケーションを円滑にするための英会話を学ぶ	2後	30	2	○			○			○
10		○		ユニバーサルマナー	様々な障害を抱えている方や少数派の方々への理解を行い、相手の立場に立ち個々が対応できる方法と考え方を理解する。	2後	30	2	○			○			○
11		○		大阪検定対策	大阪検定対策授業	2後	30	2	○			○			○
12		○		総合管理者対策	総合旅行業務取扱管理者検定対策授業	2前	30	2	○			○			○
13		○		色彩検定対策	色彩検定対策	2前	30	2	○			○			○

14	○	交流分析	交流分析資格取得対策授業	2 前	30	2	○			○			○
15	○	パソコン検定 対策	パソコン関連検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○
16	○	手話検定対策	手話検定対策授業	通	30	2	○			○			○
17	○	日本語能力試 験N1対策	日本語能力試験N1対策授業	2 前	30	2	○			○			○
18	○	日本語検定対 策	日本語検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○
19	○	ペン字検定対 策	ペン字検定対策授業	2 前	60	2	○			○			○
20	○	和食検定対策	和食検定対策授業	2 前	30	2	○			○			○
21	○	冠婚葬祭マ ナー	社会に出て、また家庭を持っても必要な作法や日本のしきたりとおもてなしの心を後世に伝えられるように学ぶ。知識と立ち居振る舞いと心得が同時に身につくように体験学習する。エレガントで常識をわきまえた大人になるための学習である。	2 後	30	2	○			○			○
22	○	観光地理	世界の主要都市、観光名所、祭事、イベント等を学ぶ。	2 後	30	2	○			○			○
23	○	はじめての手 話	手話技能習得の入門編	2 後	30	2	○			○			○
24	○	はじめての中 国語	中国語習得の入門編	2 後	30	2	○			○			○
25	○	はじめての韓 国語	韓国語習得の入門編	2 後	30	2	○			○			○
26	○	社会で役立つ Word&Excel	【Word】 日本語ワープロ検定（3級～2級）、文書デザイン検定（3級～2級）が取得できる操作を学習する。 【Excel】 表計算の基本操作・機能を身につけながら、情報処理検定（3級）が取得できる操作を学習する。	2 後	30	2	○			○			○
27	○	やさしいパソ コン	スムーズな日本語をローマ字入力できることを目指す。社会に出ても使える、Word・Excel・PowerPointの基本操作を学習する。さらにPowerPointで課題を作成する。	2 後	30	2	○			○			○
28	○	日本語総まと め	社会に出る前の最後の日本語授業で、ビジネスの現場で使える日本語、少し難しい言い回しなどを学習します。	2 後	30	2	○			○			○

29	○	電話対応技能 能力検定対策	電話対応技能検定対策授業	2 後	30	2	○				○			○
30	○	航空業界基礎 知識Ⅲ	航空業界の歴史、現在、今後について学ぶ。 航空業界の現場で使われている専門用語について 学ぶ。 就職活動に結びつけられる企業研究について学 ぶ。	2 後	30	2	○				○			○
31	○	エアライン英 会話Ⅱ	接客英会話の表現を学ぶ。 空港や機内でよく使う接客英会話を、ロー ルプレイを通じて体験する。	2 前	30	2	○				○			○
32	○	面接対策Ⅱ	グループディスカッションや面接練習を通 じプレゼン能力の底上げをはかる。 就職活動に必要なビジネスマナーを身につ ける。	2 前	30	2	○				○			○
33	○	観光マーケッ ト研究	旅行の目的となるマーケットについて知識 を習得する。幅広い客層の様々な目的に対 応できる広い分野の教養を身に着ける。	2 後	30	2	○				○			○
34	○	プレゼンテー ショントレー ニング	プレゼンテーションツール (Power Pointな ど) を使い、実践を通じてプレゼンテーショ ン力を身に着ける。	2 後	30	2	○				○			○
35	○	セルフスタイ リング	社会人として必要な一般教養を身につけ、 将来に役立てるような知識を学ぶ。	2 後	30	2	○				○			○
36	○	Cultural Trainig	ロールプレイングを中心に茶道室での立ち 居振る舞いやお道具の名前などを学び、茶 道を通じて他者への思いやりを形し、伝統 文化の理解を深める。	2 後	30	2	○				○			○
37	○	宿泊スタッ フコース	宿泊部門の上級知識を学ぶコース。ホテル 会計、コンシェルジュ業務の知識、語学と してホテル英会話、中国語も学ぶ。	2 通	180	12	○							○ ○
38	○	料飲サービ ススタッ フコース	料飲部門の上級知識を学ぶコース。模擬披 露宴、学生企画のレストランサービスを卒 業制作としている。	2 通	180	12	○							○ ○
39	○	グローバルコ ミュニケー ションコース	海外就職、国内外資系企業にアピールでき るよう、英語力をはじめ、第二外国語や国 際的視野を身につける授業。	2 通	180	12	○							○ ○
40	○	カウンターア ドバイザー コース	カウンターアドバイザー、ツアープラン ナー職として即戦力レベルで活躍できる知 識とスキルを身につける。	2 通	180	12	○							○ ○
41	○	旅館スタッ フコース	旅館の専門的な知識と幅広いスキルを身に つける。	2 通	180	12	○							○ ○
42	○	ツアープロ デューサー コース	ツアーコンダクター、アウトセールス職と して即戦力レベルで活躍できる知識とスキ ルを身につける。	2 通	180	12	○							○ ○
43	○	ステーショ ンサービ スコース	駅業務の職務を理解し、実技を通して身に つける。	2 通	180	12	○							○ ○
44	○	パーサー・乗 務員コース	パーサーや乗務員の職務を理解し、実技を 通して身につける。	2 通	180	12	○							○ ○

45	○	CA/GSコース	客室乗務員・グランドスタッフ実務授業（現場の講師・現場経験のある講師が担当し、現場意識を構築する）。	2通	180	12	○						○	○	○
46	○	テーマパークスタッフコース	テーマパークでのサービスを学び、常により高いサービスを提供し、お客様のニーズに沿った対応ができるスタッフを目指す。	2通	180	12	○						○	○	
47	○	パフォーマンスコース	様々な表現トレーニングを通じ、パフォーマーとしての実力・表現力を養い、客観的に見た自分をイメージし、認識する力を培う。	2通	180	12	○						○	○	
48	○	ウェディングプランナーコース	オリジナルウェディングに必要な企画・提案力を習得。挙式の進行を学び、ブライダルに関する企画やプロデュースのしくみを理解し、模擬挙式を企画・発表ができる力を身につける。	2通	180	12	○						○	○	
49	○	ブライダルフラワーコーディネートコース	①植物としての花の特性や扱い方、アレンジに欠かせない色彩学等、花に関する知識と技術を学ぶ。 ②ドレスやテーブルクロス、季節に合わせたブーケやテーブルフラワーを実際に作成し、必要な基礎技術とセンスを身につける。 ③結婚式のコンセプトに基づいて、挙式・披露宴会場全体の装花を企画、作成。空間演出まで総合的にプロデュースする力を養う。	2通	180	12	○						○	○	
50	○	セールス & マーケティングコース	①セールストークからプレゼンテーション等、営業に特化した知識を学び実践する。 ②アンケート調査、数字の読み方、コピー作成等を学ぶ。 ③PCスキルを身に付け、効果的なプロモーションが出来るツールの作成方法を学ぶ。	2通	180	12	○						○	○	
51	○	ドレスコーディネートコース	結婚式場で必要なドレスコーディネート知識を習得する。	2通	180	12	○						○	○	
合計				51 科目	1860単位時間(118	単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
全科目の75%が履修科目として認定取得されていること。 一部の科目について、選択履修を行う。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。